みんなで夢ある稲生にしよう！！　2026年11月5日　第113号



夢協だより

発行：夢ある稲生まちづくり協議会　TEL 386-0059

9月19日(土) 2026年度　稲生地区敬老会を開催しました

大会は天気に恵まれ149名の方が参加されました。三重拳舞館の子供たちの演武で始まり、凛とした新舞踊の踊り、コーラス“みもざ”なつかしい遊び心のある曲で青春時代を思い出された方もいらっしゃると思います。一番人気は白子中学吹奏楽部の演奏に吸い込まれるように聞いていましたね。
水谷美奈子さんの歌、そしてトークもとても良かったです。来年もワクワクするような敬老会を計画しています。
来年ぜひ参加してください。

稲生地区敬老会実行委員長　南部五月











‘ふれあい農園’の追加募集をします！

稲生市民センター南側『ふれあい農園（家庭菜園）』に 区画空きがあります。
花や野菜を育ててみませんか！

- 場所：稲生塩屋三丁目、市民センター夢協駐車場南側
- 広さ、使用料金：49㎡、4千円/年（1区画）
- 申込み、問合せ先：夢協環境部　樋口 理（090－8185－9330）
- 募集期間：先着順 11月末まで（稲生在住のかたに限ります）











夢協稲乃屋食堂お休みのご案内



11月は、収穫祭参加のため、食堂はお休みします。
“稲生を食べよう！収穫祭2026”にて、
豚汁 をご提供します。ぜひ、お越しください。



2026年　町民球技大会

夢協 健康づくり部会

INOU COMMUNITY • SPORTS & WELLNESS

みんなで楽しむ、地域のスポーツデー！「町民球技大会」



2026 年 10 月 4 日、町民球技大会が開催されました。会場では卓球やボッチャ、グラウンドゴルフなどの競技が行われ、参加した皆さんがそれぞれの種目を楽しむ様子が写真から伝わってきます。卓球ではラリーや得点をめぐって真剣な表情が見られる一方、笑顔で声を掛け合う場面も。ボッチャではボールの位置を確かめながら一投一投に集中し、グラウンドゴルフでは屋外でプレーする姿が見られました。競技中の熱気だけでなく、世代を超えて同じ時間を楽しむ雰囲気も、この大会の魅力です。集合写真からは、参加者の皆さんが一緒に大会をつくり上げたことが感じられます。これからも、スポーツを通じて地域の交流と健康づくりの輪が広がっていくことを期待します。

サンビレッジ体育委員／藤﨑徹也

「健康づくり部会からのイベントご案内」

◆ 2026 年度第三回テニポン体験会のご案内

日時 11 月 29 日 9 時～ 稲生小学校体育館

詳細・申込は右記 QR コードより確認願います

◆ ～町民凧揚げ大会のご案内～

開催日時　令和9年 1 月17日（日曜日）9 時～11時半（雨天の場合中止）
会　場　　御座池公園
参加対象　稲生地区居住者

詳細並びに申し込みは右記 QR コードよりご確認願います



「わたしたちの住む町　稲生」絵画・作文コンクール

－　入賞者の作品紹介　－

夢ある稲生まちづくり協議会　こども育成部会

稲生の米づくりや紫つつじ、イベントや伝統行事など、様々なテーマで作品に取り組んでいただき、ありがとうございました。これからも、子どもたちが「稲生の町」に親しみや誇りをもってくれることを願っています。

≪絵画の部≫



稲生小１Ｄ 原　旦歩
「おまつりたのしい　いのう」



稲生小２Ｂ　久留　陽斗
「稲生のししまい」



稲生小５Ａ　阪　実乃里
「おしっさんと　くっとりさん」



稲生小５Ｂ 大井　美空
「みんなで田植え」



稲生小５Ｃ　香西　紗帆
「緑ゆたかないのう神社」



稲生小６Ｂ　福田　志馬
「いつも見守ってくれて
ありがとう」



稲生小６Ｂ　後藤　碧仁
「えがおのあふれるみこし」



稲生小６Ｄ　小嶋　悠嗣
「大好きな天王祭」

≪作文の部≫

「いのう神社のししまい」　　稲生小　３Ｃ　鈴木　宏秋

ぼくが思ういのうの楽しいところは、じぶんの友だちがたくさんいるからです。友だちと学校で遊んだり、イベントに参加したりします。イベントは、いのう神社のおまつりや、学校のサマーフェスタ、しゅうかくさいです。

いのう神社のおまつりは、春と夏にあります。春のおまつりは、４年に１度４頭のししまいがおどります。夏のおまつりは、しゃてきとわなげとヨーヨーつりとぼんおどりがかいさいされます。

春のおまつりで、ぼくは１度ししまいにでました。ししまいの後ろに入りました。それは後まいと言います。後まいは、大人の後ろについて同じようにまう子どもことです。ぼくのおじいちゃんも、むかし、ししまいをしていました。おじいちゃんは、てんぐからしたそうです。そして、大人になった時にししまいをおどりました。力がひつようなししの中に入っていたと聞きました。とても上手にまっていたと周りの人たちから教えてもらって、見てみたかったなと思いました。ぼくもてんぐを練習してから、大人になった時、ししの中に入りたいです。ぼくのお母さんは、まいひめをしていたそうです。まいひめも、おまつりの時におどります。まいひめは、女の子しかできないので、ぼくはできません。けど、ぼくには妹たちがいるので、妹たちがすると思います。ししまいとまいひめがおまつりに出る時、ぼくと妹たちと一緒に出ることがもくひょうです。

「いつ起こるかわからない地震」　　稲生小　５Ａ　水谷　芽惟

私は、夏休み３日間、「ゆめ　まち　稲生っ子チャレンジ隊体験プログラム」に行きました。１日目は、「町の防災について考えよう」でした。まず、ひなんじょなんナンゲームをやりました。これは、災害が起こったときのひなんじょの生活を考えるゲームで、６つの問題をみんなで考えました。

一番大事だと思ったのは、トイレのことだと思いました。たくさんの人が気持ちよくトイレを使うには、汚いと思ったらすぐにそうじをすることや、かんいトイレの組み立てを手伝うのが自分は大切だと思いました。次は、寝ることも大事だと思いました。毛布やカイロ、耳栓などを配ってあげることや、高齢者や赤ちゃんやペット連れの方などは場所を分けることや、段ボールのベッドは高齢者、妊婦さん、小さい子どもの人をゆうせんして使ってもらうことが大事だと思いました。その他にも、食べ物、お風呂、洗濯、感染症についてみんなで考えました。ひなんじょなんナンゲームでみんなで考えたことは、そんなにひなんじょの生活にはかかわらないと思っていたけれど、すごく考えなければならないことだと思いました。

自分が３年生の時、石川県輪島市のおばあちゃんの家にいた時に、震度４ぐらいの地震を経験したことがあって、その時自分は、「もう人生が終わってしまうかもしれない」と頭の中がパニックになっていました。お母さんやおばあちゃんは、机の下などには隠れずに、私たちの安全を確認してくれていました。地震のゆれがおさまってからは、おばあちゃんのところに、たくさんの電話がかかってきていました。

同じ年の１月１日に、能登半島地震が起きました。その後はテレビで地震のことばかりを伝えていました。私はすごく怖かったので、テレビを見たくありませんでした。おばあちゃんのところは震度６強でした。お母さんはおばあちゃんとなかなか電話がつながらなくて心配していましたが、しばらくして無事だったことが分かったので、安心していました。

もし、稲生の町で大きい地震が起きたら、ひなんじょは稲生小学校になります。なので、その時は勉強したことを思い出してパニックになることがないように行動したいです。

「楽しい町　稲生」　　稲生小　５Ｂ　武田　志穂

私は学校で「虫送り！！！参加してみませんか？？」と書いてあるチラシを見て、「虫送りってなんだろう？なんでやるんだろう？どうやって送るんだろう？」と思ったので、参加してみることにしました。

初めは、場所が田んぼだったので、田んぼにいる虫を送るのかな？？と考えていました。そして当日、集合場所の田んぼにつくと、低学年、中学年ぐらいの子は２ｍほどの長いたいまつをわたされ、高学年の子は、たいまつを持っている子もいましたが、大体の子が交代でたいこや、かねを鳴らしていて、大人の人たちは、笛を吹い

てたり、たいこのリズムを教えてくれたりしていました。初めに私が思っていた虫送りと全然ちがってびっくりしました。私がたいまつを持っていると、お父さんに「たいまつは、たてに持つんじゃなくて、横に持たないと油が落ちてきてやけどするよ」と言われて、たいまつの持ち方を学びました。

稲生の虫送りには、こんな意味があるそうです。楽器に合わせて子どもや若者がたいまつを持って田んぼの周りを練り歩き、害虫をおいはらうとともに、豊作を祈願する夏の伝統行事として受けつがれているそうです。私もたいまつを持ち、お米とかがしっかり育ちますように！と願いながら虫送りをしました。田んぼは、自然まかせの農業だそうで、天気や害虫に大きく左右されやすく、しゅうかくが不安定だったというとを知りました。そこで、田んぼの神様にいのり、わざわいを和らげて豊作をもたらしてもらおうとしていたのが豊作祈願だそうです。

今回の虫送りに参加して、いろんな意味を知って、これからもチラシやポスターなどで「〇〇！！参加してみませんか？？」など書いてあるのがまわってきたら、それも伝統行事でいろんなことが学べる、知れる機会かもしれないので、極力参加しようかなと思いました。今年は５年生なので、たいこやかねをならしてみようかなと思います。そして、これからも虫送りに参加しようと思います。

「わたしたちの住む町　稲生」　　稲生小　６Ｂ　鈴木　康雅

僕たちが住んでいる稲生には、たくさんの田んぼがあります。普段は当たり前のように見ている田んぼですが、そこでは僕たちが毎日食べている大切な米が作られています。僕は、稲生のよさの一つは、身近な場所で米作りが行われていることだと思います。

春になると田んぼに水が入り、田植えが始まります。小さかった苗が少しずつ大きくなり、夏になると田んぼ一面が緑色になります。そして秋になると、稲穂が黄金色になり、収穫の時期を迎えます。季節によって田んぼの様子が変わるので、田んぼを見るだけでも季節の変化を感じることができます。

しかし、米ができるまでには、たくさんの苦労があります。田植えをした後も、水の管理をしたり、草を取ったり、稲の様子を見たりしなければなりません。特に夏の暑い中での作業は、とても大変だと思います。それでも農家の人たちは、食べてくれる人たちのことを思って作ってくれています。そしてその農家の人たちが作ってくれた米は、給食やイベントなどに使われています。ふだん食べている米のひとつぶひとつぶに農家の人たちの苦労などがあります。

これからは、ご飯を食べる時には、作ってくれた人の苦労を思い浮かべながら、感謝をしながら味わって食べたいです。ほかにも、だれかのために作ってくれる農家の人たちの思いにすごく気づかされました。僕たちが毎日食べているのは当たり前じゃないことがあらためてわかりました。ひとつぶひとつぶの米は一生けん命に育ててくれた農家の人や、いろいろな人の協力があって米が食べられていることわかりました。僕はたまに残すこともあるけど、これからは、作ってくれた人の苦労があると思って残さず食べていきたいです。僕たちも米を食べさせてもらっているから、農家さんたちが困っていたら協力していきたいです。

「やさしさあふれる見守りをありがとう」　　稲生小　６Ｃ　渥美　秀明

ぼくは６年生になって、登校班の班長になりました。班長に決まった時はすごく不安でした。車通りの多い細い道もあるし、信号もわたります。黄色い班長旗も使いこなさなくてはいけません。「みんなを連れて学校まで行けるかな？」ぼくのつぶやきを聞いていたお母さんはこう言いました。「竹川さんを思い出して。どんなふうに見守ってくれとる？」

竹川さんは、ぼくが１年生の頃からファミリーマートのある交差点で見守りボランティアをしてくれています。ぼくがどんなにねむくても、ぼーっとしていても、「おはよう！」「行ってらっしゃい！」と元気な声。雨が降る日は、「かさ、気をつけるんやで！」と気にかけてくれます。歩行者信号の青色がチカチカすると、パッと黄色い旗の向きを変えて、停まってくれていた運転手さんにペコリとおじぎしています。暑い日も寒い日も毎朝です。

ぼくは、竹川さんみたいにかっこよくはできてないかもしれないです。でも、竹川さんみたいに元気よくあいさつをして、班の子たちをやさしく見守る気持ちで班長をしています。自分が班長をするようになってから、稲生で見守りをしてくれている人に注目することが増えました。登校時間には、曜日によってお父さんやお母さん

も黄色い旗を持って、ぼくたちの登校を見守ってくれています。自転車に乗った校長先生があいさつに来てくれたこともあります。下校時間には、信号のない横断歩道で１年生の子がわたるのを手伝ってくれている黄色いベストを着た人がいました。

数ヶ月の間で、稲生地区にはぼくたちを見守ってくれている人がたくさんいることに気づくことができました。自分の生活もある中で、地域を見守ることは大変なことだと思います。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。ぼくも、やさしさを忘れない大人になりたいと思います。

「稲生の虫送り」　　稲生小　６Ｄ　久留　蒼太

今年の夏、初めて虫送りに行きました。虫送りとは、500 年前からある稲生の夏の風物詩です。農作物（主に稲）に大きな被害を与える害虫を駆除し、そのときの農作と無病息災を祈願するために行われています。

夕暮れ時に火を灯した松明や提灯を持ち、かねや太鼓を鳴らしながらあぜ道を歩きます。江戸時代から続いていますが、昭和 30 年代に一度途絶えて、その後、地域の歴史文化を継承するために 2009 年に復活しました。薄暮の田園地帯に松明の火の列と鳴り物の音が広がり、幻想的で迫力のある光景が特徴です。

松明の作り方は、まず長さ 2～3mの青竹、乾燥したわら、固定用の針金、油をしみこませた布や綿を用意します。そして、青竹の先端や節の部分を調整し、燃えやすいように油をしみこませ、綿や布を詰めます。その周囲にきれいにそろえたわらを束ねてしっかりと巻き付け、縄や針金で固定します。火が均等に燃えるよう、形を整えて仕上げて完成です。

太鼓の内側には弘化２年(1845 年)の銘が記されていて、江戸時代後期から大切に受け継がれてきた歴史があります。子どもたちの松明の行列やかねの音とともに、虫を村の外へ追い出すために力強く打ち鳴らされています。太鼓を体の前方にくくりつけ、かねの音色に合わせて様々な身振り手振りを交えながら叩きます。

虫送りに行ってみて、最初は何をすればいいのかがわからなくて不安だったけど、神社の方がわかりやすく説明してくれたので出来ました。松明を持っているときはすごく熱さを感じたし、火が消えずにずっとついていたのでびっくりしました。前の人や後ろの人に当たらないように気をつけて歩きました。太鼓やかねの音は、田んぼに響きわたり、ずっと聴いていられるような気持ちのいい音でした。帰りにもらったいばらもちが、とてもおいしかったです。次に参加するときは、松明作りもしてみたいと思います。

「稲生の歴史」　　稲生小　６Ｄ　樋口　文音

私は、稲生の歴史について調べた時に、大下遺跡に一番興味をもちました。きっかけは、総合の授業で稲生の歴史を調べたことです。　歴史に興味をもったので、鈴鹿市考古博物館に行ってきました。展示を見て、昔の人たちが稲生で暮らしていたことが分かり、とてもおどろきました。鈴鹿市考古博物館で大下遺跡について知ることはできなかったけど、インターネットで調べたところ、大下遺跡は弥生時代から古墳時代にかけての集落の跡だそうです。

発掘調査では、集落のまわりを囲む大きな堀である「かんごう」が見つかりました。また、その堀の水を流すための木で作られた排水施設も発見されました。このような施設が見つかったのは全国でもとても珍しく、大下遺跡は貴重な遺跡だということが分かりました。私は、弥生時代の人たちが、今のような機械もない時代に、大きな跡を作ったことがすごいなと思いました。

また、木を上手に使って水を流す工夫をしてたことから、昔の人たちは知恵があって、力を合わせて生活していたんだと感じました。さらに、大下遺跡から木製の道具なども見つかっていることが分かりました。何千年も前の物が今でも残っていることにおどろきました。

これらの発見から、昔の人たちの生活の様子が少しずつ分かってきて、歴史は学校で話を聞いて学ぶだけではなく、本物を見て学ぶことができることを知りました。私はこれまで、稲生の町の歴史は知りませんでした。しかし、大下遺跡について調べたことで、昔から多くの人が稲生に暮らし、知恵を使いながら生活してきた場所だということが分かりました。これからも、稲生にはどのような歴史があるのか調べてみたいです。そして自分の住んでいる地域の歴史を大切にし、未来に伝えていきたいです。



夢協公民館だより



鈴鹿市稲生塩屋三丁目 2-34　TEL059-387-0479　令和８年11月５日

【公民館事業】参加者を募集します (稲生地区の方が優先です)

申し込み　下記の申込書に記入のうえ公民館窓口まで
（公民館玄関左横の外の郵便受けに入れていただいてもよいです）
申込〆切　11月30日（月）先着順ではありません。
申し込み多数の場合は抽選し、抽選に外れた方のみに連絡します。
公民館からの連絡がなければ当日お越しください。参加費は当日集金します。

募集 ① 季節の折り紙教室 ～来年の干支(福ひつじ)作り～

- 日　時：12月16日（水）13:30～15:30
- 場　所：稲生公民館　ホール
- 定　員：15名
- 参加費：無料

折った作品を色紙に飾ります。
色紙は数種類の中から選んで
いただきます。



＜見本＞

募集 ② お正月飾り教室 ～ミニ門松作り～

- 日　時：12月23日（水）13:30～15:00
- 場　所：稲生公民館　ホール
- 定　員：15名
- 参加費：500円（１対）
- 持ち物：剪定ばさみ、軍手、持ち帰り用入れ物


＜写真はイメージです＞

※キャンセルについて　材料準備の都合上、参加費が発生する場合があります。

- 切り取り線 -

令和８年度公民館事業申込書

参加ご希望の事業に〇をつけてください
①季節の折り紙教室　②お正月飾り教室

お名前(　　)　電話番号(　　)

自治会名(　　)　年 齢（ 65才未満・65才以上 ）

稲生公民館文化祭（展示発表）のお知らせ

公民館サークル生による展示発表です。
多数ご来場いただきますよう心よりお待ちしております。

展示発表等　11 月 7 日(土)・8 日(日)　両日 9:30～15:00

作品展示　パッチワーク＆ハワイアンキルト・さくら会（洋画）・
さくらんぼの会（洋画）・ウッドバーニング・美文字筆ペン・
習字・絵手紙・水墨画・編み物・大人のぬり絵・大人のぬり絵 P・
八束穂句会(俳句)・生華(午前)・生華(夜)

活動報告　Ito アロマ・健康ボッチャ・いのうそば道楽・脳トレ体操・
脳トレ麻雀・空手道・ストレッチ体操(昼)・ストレッチ体操(夜)・
リンパヨガ・バランスボール

呈茶(7 日)　10:00～　抹茶(裏千家)･裏千家茶道の基本
お菓子がなくなり次第終了します

囲碁体験会(8 日)　9:30～11:30　囲碁(上級･初級)



今後の事業予定　列車が走る❣（鉄道模型）　1 月 10 日（日）･11 日（月祝）
季節の折り紙教室　1 月 20 日（水）午後
詳細は次号の夢協公民館だよりでお知らせします。

稲生福祉サロンの会主催

【さわやかサロン参加者を募集します】

日時	場所	内容	募集人数	申込期間
11/24（火） 13:30～15:00	稲生公民館	運動リハビリ （介護予防センター）	50 人	10/27～11/9

【稲生子育てサロン参加者を募集します】

日時	場所	内容	募集人数	申込期間
12/15（火） 10:00～11:00	稲生公民館	クリスマス会「クレヨン」さんの人形劇とうた	15 組	11/17～11/30

お申し込みは、稲生公民館 059-387-0479 へお電話ください（平日 9:00～17:00）。
先着順（地区内の方優先）です。定員になり次第締め切ります。

配本／ふれあいライブラリー　11/2（月）・11/16（月）・11/30（月）　15:30～16:00
図書館職員が巡回します。読みたい本のリクエストや予約もできます。ぜひご利用ください。